

## 桐光会へのお礼メッセージ(2022 年度春学期)

---

### #1

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。コロナウイルスの影響による父の廃業により、苦しい状況の中で学費を支払うことが困難となりました。ですが、この度桐光会応急支援奨学金に採用していただいたおかげで、引き続き大学で学ぶ機会をいただくことができました。この恩を忘れずにこれからも勉学に励んでいきたいと思えます。

理学療法学科 奨学生本人

### #2

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、心から感謝しております。私の家庭は六人家族の多子世帯で、両親の収入に頼って生活しています。四人兄弟のため、私一人に養育費の大半を割くわけにもいかず、学費の捻出に不安を抱えていました。加えて、四月からは対面授業が、六月からは就職活動が始まり、遠隔授業の頃とは一転して、さらに修学費用が増えました。それに伴い、アルバイトができる日数が限られてしまいました。今までのアルバイトで得た収入は学費だけでなく、通信費や交通費に充てていたため、比例して両親の金銭的負担が大きくなり、学費のすべてを賄うのは厳しいことが予想されました。そのような切迫した状況の中、貴会奨学金の採用が決まりました。無事に私は春学期の学費を納入することが出来ました。私は、将来目指す IT 業界への見識を深めるため、より一層学業に専念することができます。その他、いま現在は簿記二級の取得を目指しており、夏のインターンシップに参加する等、就職に向けた準備を整えています。今回の選考結果に恥じないよう、これからも大学生活で実りある成果を示し、精進してまいります。

メディア学科 奨学生本人

### #3

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。去年 12 月に父が病で亡くなり、収入減が母のみとなってしまう、経済面に不安を抱えていました。そのため、私自身もアルバイトに励み、自分の生活に必要なお金は、自分で負担していました。しかしながら、今回応急支援奨学金に採用していただけたおかげで、精神的な面でも、経済的な面でも負担が軽減され、学費の心配がなくなり、安心して学業に励むことができます。今後は、学芸員資格の取得に向けて、実習なども始まり忙しくなるとは思いますが、しっかりと勉学に励みたいと考えております。私は、現在 3 年生で、就職活動を始めており、自分のやりたいことを見つけている最中です。具体的な将来の夢ややりたい職業は、決め切れていないのですが、自分がやりがいを感じるができる職業に就きたいと思っています。これからの学生生活も周りの方々への感謝を忘れずに、有意義な時間を送っていきけるように頑張ります。本当にありがとうございました。

地域社会学科 奨学生本人

**#4**

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき心より感謝申し上げます。末期がんのため入院していた父が、担当医の方々のご尽力も虚しく今年の3月に死去しました。また、母も父の看病に専念するために退職をしました。そのため、収入がなくなり、家計が困窮しています。私の双子の妹も私立大学に通っているため、教育費が多くかかっています。こうした理由から奨学金を申請いたしました。今回、応急支援奨学金があったことで、無事に学費を納めることができました。学費への不安がなくなり、学業に集中することができるので、大変うれしく思っております。現在は、Business Communicationや異文化コミュニケーションなどの講義を履修しております。来学期以降も、より専門的な英語の知識やグローバルな視点を培うことができる講義の履修を計画しております。将来、英語で仕事をすることや外国の方と仕事をするを想定して、学習を進めております。そして、卒業後の進路については、旅行関連や留学関連の職に就きたいと考えております。貴会のご支援のおかげで、残りの大学生活もつつがなく過ごすことができそうです。今後も桐光会奨学金を受けたものとして恥ずかしくないよう、より一層勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございます。

英米語学科 奨学生本人

**#5**

この度は桐光会応急支援奨学金の支援をしていただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスにより、自営業を営む父の収入が減少し、私自身の学費や家計状況が圧迫されており、経済状況が厳しい状況でしたが、この度の応急支援奨学金の支援により経済不安が一部解消され、学業に集中する環境を作ることができました。これからの勉学に一層励み、立派な理学療法士になれるよう精進していきたいと思っております。誠にありがとうございました。

理学療法学科 奨学生本人

**#6**

この度は、応急支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。実家が火災により全焼となり、家庭の事情により学費を捻出するのが難しくなってしまったため奨学金を申請させていただきました。採用していただいたおかげで退学することなく進級することができました。また、今回支援していただいたことにより、学べる環境があるというのは当たり前のことではなく、必ず誰かに支えられていると感じることができました。本当にありがとうございます。今後は今まで以上に学業に邁進してまいります。卒業後は、日本語教師になりたいと考えております。日本語教師という職業は日本語を教えることだけでなく、様々な環境や背景を抱えた学習者を支える役割も担っていると考えています。今回、桐光会の皆様に支援していただいた分、私自身も学習者を支えられるような日本語教師になりたいと強く思うようになりました。

日本語・日本語教育学科 奨学生本人

**#7**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。私は、現在日本学生支援機構の奨学金とアルバイトによる収入で、学費と生活

費を工面しようと努力しております。しかし、コロナ禍によるアルバイト先の営業時間の短縮や片道2時間以上通学に充てなければならないことから、今まで以上にアルバイトの時間を増やせない状況です。そのため、不足する費用は親から援助してもらっていますが、私の家は家族が多く、大学院生の兄と大学進学を希望する妹もおり、家計は厳しい状況です。そのような中、桐光会修学支援奨学金に採用していただきましたことで、金銭面の不安が和らぎ、安心して学業に専念することができます。今後は、ご支援いただいた感謝の気持ちを忘れずに、より一層勉学に励み、夢である広告業界への就職を目指し、インターンシップや就職活動に集中して取り組んでまいります。

メディア学科 奨学生本人

## #8

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。私の家は、年の近い兄弟が多く両親が共働きをしておりますが金銭的に余裕がない状況が続いておりました。そんな中、母の乳がんが見つかり先の見えない不安を抱えていましたが、今回採用していただいたおかげで経済的にも精神的にも余裕が生まれ、安心して勉学に励むことができるようになりました。今後も感謝の気持ちを忘れず勉学に励み、立派な作業療法士になれるよう精進していきたいと思っております。ご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

作業療学科 奨学生本人

## #9

この度は桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。通学時間に往復4時間かかるためアルバイトをする時間が確保できないことに加え、父の転職で収入が減少、同居家族が新型コロナウイルスに感染したためにさらに収入の減少があり、経済的負担が大きい状況でした。しかし、今回採用していただけたことで、経済的な負担が軽減し、より一層勉学に励むことができます。自分の理想とする看護師になるため、今後も国家試験に合格できるよう努力し続けます。ご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

## #10

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私の家は、大学3年生の兄と中学2年生と3年生の妹の2人、両親と私の6人家族で暮らしています。兄は私と同じく日本学生支援機構の奨学金第一種、第二種を借りて大学に通っています。昨年1月、加齢とともに生活リズムが乱れる職種で身体を壊しかけた父は、祖父母の介護が必要になったこともあり、退職しました。現在は介護をしながら、ハローワークに通い求職しています。パートで働く母の収入と貯金を切り崩しても、6人での生活は経済的な負担が大きく、来年高校に進学予定の妹にも影響を及ぼす可能性がありました。しかし、今回採用していただけたことで、学費として支払うはずだったお金を生活費に充てることができます。また、心に余裕ができ、就職活動も安心して行うことができるようになりました。今まで大学で学んできた製菓の知識を活かして、たくさんの人を幸せにできるような職に就くため、様々な企業を比較検討しています。私も社会に貢献できるような立派な社

会人になるため、残り少ない学生生活ではありますが、より一層勉学に励み、納得のいく結果になるよう就職活動も行っていきたくと思います。最後になりますが、桐光会を通してご支援してくださった皆様に心より御礼申し上げます。

製菓学科 奨学生本人

#### #11

この度は、桐光会奨学金に採用していただきありがとうございます。昨年5月に母が大病を患い、12月まで約7か月間入院しました。母の入院費と私の昨年度秋学期の学納金は母の加入していた生命保険の給付金と父のボーナスで支払うことができましたが、退院後も母はリハビリを続けており、復職の目途はたっておりません。今年度春学期の学納金は母のパート収入で賄う予定でしたので、学納金全額を納入することが困難になり奨学金を申請させていただきました。母は現在も働ける状態ではありませんが、奨学金に採用していただいたことで、私自身は就職活動に集中することができ、無事内定をいただけた後は卒業までの間、学業に支障がない程度でアルバイトもしたいと考えております。卒業後は、医療事務の仕事に就きたいと考え、就職活動をしています。高校生のときから将来の仕事を考えた時に、事務の仕事、中でも母が結婚前に歯科助手をしていたこと、その仕事の魅力を聞かせてもらっていたこともあり、医療関係の事務に関心をもち、入学後も医療事務の勉強に力を入れ資格試験にも合格することができました。現在行っている就職活動でも医療事務の仕事に就けるよう頑張りたいと思います。母の病気という状況でも学業を継続できるのは、桐光会奨学金制度があり採用していただけたおかげです。自分のような学生をご支援いただけるこのような制度は、不測の事態でやむなく学業を中断せざるを得ない学生が救われるのではないかと思います。本当にありがとうございます。

ビジネス社会学科 奨学生本人

#### #12

この度は、桐光会奨学金のご支援をいただき、誠に感謝しております。私は高校生の頃からマーケティングに関連した仕事に就職することを目指しております。マーケティングについての専門知識、的確な判断力と柔軟な思考力を身につけることが在学中の目標です。また、奨学金のご支援おかげでより学業に専念することが出来ました。マーケティングに関連した仕事に就くために様々な社会現象を理解するための基本的な知識を身につけ、社会に貢献したいとの思いから日々勉学に励んでいます。桐光会奨学金を申請した理由として私の家庭は7人家族と多く、両親の収入で生計を立てており、学費は両親と私の収入で工面しています。しかし、妹の中学進学と新型コロナウイルスによる影響で収入が減少してしまったため、学費を工面するためにアルバイトを増やしたため勉学がおざなりになってしまう可能性がある中、桐光会奨学金に採用していただきました。採用していただいた結果、アルバイトに費やす時間が減り、以前よりも勉学に多くの時間を充てることが出来ました。今後の学生生活では、将来のことに目を向けて2年もない残りの大学生活を価値あるものにしたいと思います。

社会情報学科 奨学生本人

**#13**

私は、母子家庭で母の収入と自身のアルバイトと奨学金にて一人暮らしをしながら学生生活を送っています。昨年の9月から母は病気となり、現在も自宅療養となりました。私はコロナの影響でアルバイトのシフトが減らされている状況です。母と私の収入が減っている現状のため、桐光会奨学金を申請しました。桐光会から奨学金をいただいたことで、学業に専念することができる環境をいただき、感謝を忘れずに学生生活を送りたいと強く思いました。また、大学へ通うことへの意味をもう一度再認識し、新たに考えるきっかけにもなりました。今後は、桐光会の方含め、家族、周りの方々に感謝をして自分の将来の目標に向けて興味のある分野に挑戦し、幅広い知識を身につけ将来に活かしたいと思っています。また、部活動や留学を通して多くの友人をつくり、大学での貴重な時間を充実したものにしたいです。私の将来の夢は。アパレル業界でマーチャンダイザーになることです。そのために、多くの知識を身につけるだけでなく、企画・生産・会計など様々な視点から物事を見ることが出来る人材になる必要があります。この学生生活をより充実させ、自立した社会人になるために日々努力していきたいと思っています。

社会情報学科 奨学生本人

**#14**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の父は昨年3月末まで正社員として勤めておりましたが、コロナによる勤務先の業績悪化により、会社都合での退職となりました。その為、収入が減少し、経済的な負担が大きい状況でした。私自身も就職活動で忙しく、アルバイトの時間を作ることが難しかったため、不安を抱えておりました。そんな中、今回桐光会奨学金に採用していただいたことで、経済的不安が軽減されました。これからもご支援いただいた桐光会の皆様に感謝の気持ちを忘れず、より一層勉学に励みたいと思います。

経営学科 奨学生本人

**#15**

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。一昨年、父が勤めていた会社を希望退職し、経済的に余裕がなくなり、母も働いておりましたが、観光業の仕事のためコロナウイルスの影響を大きく受け、仕事の量もずいぶん減ってしまいました。私も現在就職活動を中心としているため、アルバイトも週1日のペースになっています。それぞれがギリギリの中で毎日を暮らしており、今回奨学金のおかげで不安なく学業に励むことができるようになりました。改めて、感謝申し上げます。大学生活最後の一年となり、就職活動の中で自分を見つめ直しながら、社会にどう貢献していけるかと進路を模索しています。卒業後は、メディア学科での学びを活かせる職種に就きたいと考えています。特に、日本の文化を象徴する一つである、IP（知的財産）を扱える職に就きたいと考えています。最後になりましたが、ご支援くださった桐光会の皆様に心より御礼申し上げます。感謝の気持ちを忘れずに、最後の一年間目白大学生としての誇りをもって学業に励んでいきたいと思います。

メディア学科 奨学生本人

**#16**

昨年の12月、父が緊急入院しました。大腸がんのステージ4だということが検査で判明しました。手術も施せないほど、がんは進行しており、現在は抗がん剤による治療を続けている状態です。2週に1度の抗がん剤投与により多額の治療費用がかかり、今後も延命治療の継続で更なる治療費の捻出だけでなく、父の容態から長期休暇、退職の事態も考えられ、私のアルバイトの収入だけでは学費納付の目途が全くつかないため、今回桐光会奨学金を申請しました。父の病気が発覚したとき、私は父を失うかもしれないという恐怖と、この先の家族や自分の将来についてとても不安を感じました。しかし、このようなことがあっても前を向いて一生懸命生きなければならない。何より父は今でも病気と闘っているため、私たち家族はもっと強くあるべきと思っています。私が進学を望み選んだ大学には、このようなとても献身的な制度がありました。この度は、桐光会奨学金を採用していただき、誠にありがとうございました。今後、自分の未来を切り開いていくために学業にしっかり励み、家では父や家族のサポートをして、日々精進していきたいと思っています。

社会情報学科 奨学生本人

**#17**

この度は、桐光会奨学金を採用していただきありがとうございます。今回桐光会奨学金に申し込んだ理由は、父ががんになってしまい、手術をすることになり人工肛門を装着することになりました。人工肛門を装着することで以前のように力仕事ができなくなり、仕事も減り給与も減少しました。そのため学費などを支払うことが困難になりました。今後の学生生活では、資格を取得するため勉強を行うことを第一の目標とし、単位を取得することと専門職、子どもについてしっかりと学んでいきたいと思っています。またボランティア活動にも積極的に参加し、アルバイトと勉強の両立をできるように行っていきたいと思っています。卒業後の進路は保育士になり、公立の保育園で働きたいと考えています。これからも、勉強とアルバイトの両立を目指していき、保育士資格を取得できるよう努力するとともに、いろいろなことに挑戦し励んでいきたいと考えています。

子ども学科 奨学生本人

**#18**

桐光会奨学金に採用していただきありがとうございます。今回、桐光会奨学金を申請した理由は、2つあります。1つは、私が4人兄弟の長女であり経済的余裕があまりないからです。特に今年から来年にかけては3人とも進学するため、環境が大きく変わることでより多くのお金がかかります。もう1つは、私自身が貸与型奨学金を借りており、返済に不安を抱えているからです。週に2回、18時~0時までアルバイトをしているのですが、それでもやはり奨学金の返済には不安が残っています。これからインターンシップや就職活動が始まり、思うようにアルバイトができず収入が減ってしまうことを心配しています。ただ、今回採用していただいたことで、学費納入に関する安心感が強まり、より勉強に集中できるようになると思います。まだ対面授業も遠隔授業があるため、それぞれの良さを生かしながらより集中したいと思っています。今後の進路がまだはっきりと決まっていないため、インターンシップや業界研究を通して自分の望む業界を決めていきたいです。

メディア学科 奨学生本人

**#19**

この度は、桐光会奨学金を採用していただき、心から感謝いたします。ありがとうございます。私には、高校3年生の妹と中学1年生の弟がおり、また、私自身、秋学期に韓国への留学を予定しています。そのため、留学費用を貯めるために週3日ほどアルバイトをしておりますが、学費まで貯めることが難しい状況です。ただ、今回奨学金に採用されたことで、両親への負担を減らし、私たち兄弟も学業により専念できる環境となりました。将来は、韓国への留学経験を活かし、日本と韓国の文化・流行・交流に関する職業、活動をしたいと考えています。夢を叶えるため1日1日の授業や学習を大切にし、日々努力していきます。

韓国語学科 奨学生本人

**#20**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。これまで給付型奨学金にて学費を納入していましたが、奨学金が減り、アルバイト代だけでは学費を払えない状況でした。急遽、他の機関でお金を借りるか、最悪の場合、退学まで考えていましたが、桐光会奨学金のことを知り申請しました。桐光会奨学金に採用されたことで、もともと学費に費やす予定だった自分の貯金を秋学期学納金納入のために準備することができました。学生の本業は、アルバイトではなく学業であるべきと考えているので、今回の奨学金により経済的、精神的に余裕ができ、より一層学業に励むことができると思い、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。目白大学で引き続き学機会を与えて頂いた分、今後も学業を怠ることなく、全ての授業において向上心を持ち、精力的に学んでいきます。4年間、その気持ちを忘れずに学業に励み、卒業後には韓国語を活かした貿易業等、国際的な職に就きたいと考えています。

韓国語学科 奨学生本人

**#21**

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、ありがとうございます。母子家庭の上、私の下に2人の妹がいます。母は個人事業主のため、新型コロナウイルスの影響で、2020年の収入から50%減少し2021年末の売上は月3~4万円ほどでした。経費などを引くと手取りはほとんどなく、大学の学費どころか生活すら困窮している為、今回の応急支援奨学金を申請しました。今後の学生生活では、これまで以上に学業に真面目に取り組み、GPAをあげることに、また資格の勉強はもちろん、勉学以外にもさまざまなことに挑戦し、なりたい職業、やりたいことを明確にしていきたいと思えます。

経営学科 奨学生本人

**#22**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。採用していただき、経済的負担が軽減され、学業に集中することができています。ご支援いただいた桐光会への感謝を忘れず、現在専攻している「メディア学」に関わる知識や技能を活用し、世の中に時間が経てば忘れてたり色褪せてしまうこと、価値や意義がある出来事を記録し、SNSなどで世界に向けて発信や日本社会に貢献でき

るように日々努力していきたいと思います。

メディア学科 奨学生本人

**#23**

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。母が癌に罹ってしまい、お金のことにに関して両親を頼ることができませんでした。元々、アルバイトをしていましたが、一人暮らしであるため、アルバイトの給料のほとんどは生活費に充てていたため、学費の支払いが困難になりました。そのため、今回の桐光会奨学金により学費を無事に支払うことができました。残り1年もない学生生活ですが、今まで以上に勉学に励みたいと思います。また、卒業後も桐光会の方々に支援していただいたということを忘れず、社会に貢献していきたいと思います。

地域社会学科 奨学生本人

**#24**

この度は、桐光会奨学金をいただき、誠にありがとうございます。私は3人姉弟で2人の弟がいます。今年の4月から弟が私立高校に通うことになり、また小学生の弟もいるため養育費が家計を圧迫していました。私自身、アルバイトをしていますが、家計が苦しく金銭的にとても厳しい状況でした。桐光会奨学金をいただけたことで、勉学に打ち込める環境を得ることができました。みなさまのご支援のおかげと私はもちろん、家族一同感謝の気持ちでおります。これから始まる外部実習を真剣に取り組みさせていただきます。そして、一年後の歯科衛生士国家試験に向けて勉強に集中してまいります。より一層精進してまいります。

歯科衛生学科 奨学生本人

**#25**

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私が2歳の時に両親が離婚し、それからは祖母が私の面倒を見て、父親は一生懸命働いて、ここまで育ててくれました。ですが、元々父親のみの生計で暮らしており、生活するだけで精一杯で、学費を納めるのが難しい状況でした。しかし、採用していただいたおかげで、経済的な負担を軽減することができたので、以前よりも安心して学業に励むことができます。私は、韓国語学科の学生として韓国語を勉強しているので、将来は韓国や韓国語に関連する仕事に就きたいと考えています。今回、支援してくださった桐光会の皆様に感謝の気持ちを忘れず、より一層精進してまいります。本当にありがとうございました。

韓国語学科 奨学生本人